

令和3年度 教育支援コーディネーター及びスクールソーシャルワーカーの
活動状況報告について

教育支援コーディネーター及びスクールソーシャルワーカーへの相談の主な事案は、いじめ、不登校、特別な支援を要する児童・生徒、養育が困難な家庭等である。学校管理職を経験した教育支援コーディネーター3人と、社会福祉士の資格を有するスクールソーシャルワーカー3人により、主に学校や関係機関との連携を図る業務を行っている。

1 対応案件数（延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和2年度	令和2年度との差
対応案件数	168	141	175	188	180	248	202	198	226	188	219	298	2,431	2,507	-76

2 新規案件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和2年度	令和2年度との差
新規案件数	4	13	10	5	3	4	7	10	6	4	11	5	82	74	8

3 主訴別実数（集計期間：4月から3月）

主訴内容	件数				令和2年度	
	小学生	中学生	その他	合計		
学 校	不登校	47	45	9	101	79
	教員等への不信	4	2		6	3
	進路・転校	1	6	1	8	12
	学校選択				0	0
	いじめ			1	1	3
	学習に関する問題	8	1		9	9
	非行（万引き・恐喝等）				0	0
	学校の対応について	5	2		7	4
	小計	65	56	11	132	110
	障 害	発達障害	37	1		38
知的障害		14			14	5
言葉・きこえ					0	0
身体障害					0	0
その他の障害・疾患		2	4	1	7	2
小計	53	5	1	59	30	
家 庭 環 境	親の養育不安	35	13	2	50	51
	虐待・虐待の疑い				0	0
	家庭内暴力（DVを含む）				0	0
	養育困難	2			2	3
	経済的な困難				0	0
小計	37	13	2	52	54	
落ち着きなし				0	0	
集団不適応				0	0	
小計	0	0	0	0	0	
合計	155	74	14	243	194	

4 コーディネート先件数（学校以外）
（対象は、3主訴別実数）

関係機関名	件数
子ども家庭支援センターすこやか	4
教育相談所	11
適応指導教室「太陽の子」	22
不登校特例校分教室第七中学校はしうち教室	7
学務課	1
調布市子ども・若者総合支援事業「ここあ」	1
病院・クリニック	6
放課後デイサービス	4
児童相談所	0
警察	0
その他	7
合計	63

5 相談者（対象は、3主訴別実数）

相談者	件数
保護者	108
本人	8
学校	48
その他	79
合計	243

※その他には終了したケースを含む。

【主な特徴】

- 新規案件数は、前年度比で8件増加している。
- 主訴内容（実数）は、前年度比で49件増加している。内容としては、不登校が全体の約42%と最も多く、次に、親の養育不安、発達障害の順に多くなっている。
- 学校以外のコーディネート先では、太陽の子や教育相談所が多い。
- 相談者は、保護者が最も多くなっている。